

第 11 回精神科認定看護師受講資格審査出願要項

平成 29 年度精神科認定看護師教育課程（東京研修会場）の受講生を下記のとおり募集します。

- (1) 募集人員 100 名
- (2) 出願期間 平成 28 年 9 月 1 日（木）～平成 28 年 9 月 30 日（金）（必着）
- (3) 出願資格 別記、表 1（1）～（2）の条件を平成 28 年 9 月 30 日時点で満たす者
- (4) 出願書類 別記、表 2（1）～（4）
- (5) 審査日程 平成 28 年 11 月 9 日（水）
- (6) 審査会場 下記の①～③より 1 つの会場を選択
 - ①東京会場（東京研修会場） ②京都会場（京都研修センター）
 - ③福岡会場（日精看ネット九州）
- (7) 審査科目 小論文、書類審査
- (8) 出 願 先 出願書類は、小論文の審査を受ける会場へ送付する。
 - ①東京会場：〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル 7F
日本精神科看護協会 受講資格審査出願係
 - ②京都会場：〒604-8166 京都府京都市中京区三条通烏丸西入御倉町 85-1 KDX 烏丸ビル 8F
日本精神科看護協会 京都研修センター 受講資格審査出願係
 - ③福岡会場：〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川 3-14-20 福精協会館 2F
日本精神科看護協会 日精看ネット九州 受講資格審査出願係
- (9) 資格審査料 会員：16,200 円（税込） 非会員：27,000 円（税込）
資格審査料は出願書類を受理した後、振込用紙を送付。
- (10) 審査結果 平成 28 年 12 月 9 日（金）、本人へ書面による通知。また、合格者の受験番号を当協会ホームページで公表。
- (11) そ の 他
 - ①出願にあたっては、「精神科認定看護師制度ガイドブック平成 28 年改訂版」を参照し、出願書類についても同ガイドブック（平成 28 年改訂版）の様式を使用すること。
 - ②提出前に出願書類を確認すること。書類に不備がある場合、受理しない。

表 1 出願できる者の条件

- (1) 日本国の看護師の免許を有すること。
- (2) 精神科認定看護師として必要な実務経験を積んでいること。ここで必要な実務経験とは、看護師の資格取得後、通算 5 年以上の看護実務に従事し、そのうち通算 3 年以上は精神科看護実務に従事していること。
 - ①出願者は、臨床で実務を行っていること。
 - ②出願者が臨床で実務を行っていない場合は、精神科看護を実践する場を 1 か月に 28 時間以上（週 7 時間程度）もち、それを証明すること。

表 2 出願書類

- (1) 精神科認定看護師受講資格審査出願書（様式 1）
- (2) 受講資格審査出願者勤務状況証明書（様式 2-1）
- (3) 精神科看護実践事例報告書（様式 2-2）
- (4) 看護師の免許証の写し（A4 サイズにコピーすること）

全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ) 第20回全国大会in東京

日時▶7月8日(金)～9日(土)

会場▶日本赤十字看護大学広尾キャンパス(東京都渋谷区)

プログラム▶基調報告 戸高洋充/記念講演 東田直樹+東田美紀/分科会1「こうして私達は恋愛しています～Happiness in amix」、2「高齢障害者の暮らし一制度を超えて暮らしをデザイン♪」、3「世代交代について考える一世代をつなぎ、支援をつなぐ」、4「体感型ワークショップ Need Adapted Approach～オープンダイアログとハウジング・ファースト」、5「精神病の日本近代一社会的入院を問い直すために」、6「対人支援技術の極意～下から目線のスーパービジョン」、7「自己決定とエンパワメントが機能する会議～ファシリテーションスキルを使って楽しい会議をつくってみませんか?」、8「あみの歴史を振り返り、地域の未来を語り合う～課題解決はみんなの力で」、9「『スキなこと』をかたちにしよう一機関誌あみで全国デビュー!」/特別講演「みづかなLGBT」けんたろう/シンポジウム「人として大切なこと」西谷清美+米セツ子+伊澤雄一

参加対象者▶精神障害者の地域生活支援にかかわる支援者および当事者、家族、精神障害者の地域生活支援に興味のある人、その他、関係機関、関連事業に携わる人。

定員▶600名

参加費▶会員・賛助会員7000円、一般9000円、当事者および学生2000円

問い合わせ先▶あおばケアセンター内 大会事務局
〒167-0032 東京都杉並区天沼3-26-25

☎03-6383-6080

NPO法人全国精神障害者地域生活支援協議会

〒185-0022 東京都国分寺市東元町4-1-14リヒテンハイム102

☎042-313-9403

FAX 042-313-9407

日本外来精神医療学会(第16回)

日時▶7月9日(土)～10日(日)

会場▶横浜市開港記念会館(横浜市中区)

プログラム▶会長講演「外来精神医療への期待一透明化と標準化を求めて」宮岡等/特別講演「これからの精神医療と医療機関の機能分化」福田祐典/講演「オープンダイアログ」斉藤環、「ベンゾジアゼピン受容体作動薬の功罪について考える」渡邊衡一郎、「医師-患者関係における『薬剤』～服薬方針をめぐる調和と不調和」榎原克哉+北中淳子、「マスメディアと精神科医(鼎談)」香山リカ+宮岡等、「多機能型精神科診療所による包括的精神科地域ケア」窪田彰、「救急医から精神科医に物申す」上條吉人/シンポジウム「認知症ケアにおいて精神医療に求められること」「多剤大量処方に至る思考と心理(鼎談)」「入院か外来かをどう判断するか～精

神科外来臨床の現場から」「デイケアの本質とは」「職域におけるメンタル不調者への対応方法がもつ課題」「大人の自閉症スペクトラム障害：北里大学における診断と支援」/市民講座「精神科医をどう選ぶか」宮岡等、「大人の発達障害をどう支援するか」井上勝夫

問い合わせ先▶大会事務局：北里大学医学部精神科学
〒252-0380 神奈川県相模原市南区麻溝台2-1-1

☎042-748-9111

運営事務局：(有)エム・シー・ミュージズ

〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13

☎03-3812-0383

FAX 03-3812-0376

E-mail：info@mcmuse.co.jp

日本うつ病学会総会(第13回)

日時▶8月5日(金)～6日(土)

会場▶愛知県産業労働センター(ウインクあいち)(名古屋市中村区)

テーマ▶「うつ病・双極性障害を診る・支える・知る」

プログラム▶シンポジウム「当事者が治療に期待すること」/ワークショップ：児童思春期、周産期、就労者、身体疾患との関係など

参加要件▶非会員は申し込み時に臨時会員であること。臨時会員申し込みはホームページまで

問い合わせ先▶コンベンションリンケージ内 運営事務局

〒460-0008 名古屋市中区栄3-32-20 朝日生命矢場町ビル

☎052-262-5070

FAX 052-262-5084

E-mail：jsmd13@c-linkage.co.jp

市民公開講座 ユマニチュードという革命

日時▶8月7日(日)

会場▶上智大学10号館講堂(東京都千代田区)

プログラム▶基調講演「ユマニチュードという革命——ケア技法の創始者ふたりが語るその哲学(同時通訳)」ロゼット・マレスコッティ+イヴ・ジネスト/シンポジウム「ケアの科学的分析と実践」石川翔吾+坂根裕+調布東山病院看護部

参加費▶無料

※要事前登録

申し込み▶<http://seizon.umin.jp>

SST経験交流ワークショップin福岡 (第22回)

日時▶8月19日(金)～20日(土)

会場▶福岡大学(福岡市城南区)

プログラム▶副会長講演「精神障害をもつ人への支援方法のパラダイムシフトとSSTの新たな役割」安西信雄/教育講演 川崎弘昭/特別講演会「コミュニケーションと自分～SSTの神髄」西園昌久/シンポジウム「当事者の体験から学ぶ～これからのSSTで大切なこと、求められるもの」/分科会(定員各50名)1「認知

機能リハビリテーションとSST」岩田和彦、2「体験！SSTの楽しさを再発見」土屋徹、3「刑の一部の執行猶予制度とSST」品田秀樹、4「復職支援・EAPに役立てるSST」春日未歩子、5「心理教育と家族支援」後藤雅博、6「子どものメンタルヘルスを高めるSST」佐藤正二、7「医師のためのSST入門講座～職場のメンタルヘルスに生かすSST」高橋恵、8「訪問支援における服薬自己管理モジュールの活用」齋藤百枝美、9「レジリエンス（回復力）を高める」島田栄子、10「就労移行支援事業所等における就労支援SST」上ノ山真佐子ほか／認定講師研修／初級研修／ステップ・バイ・ステップ

申し込み▶ホームページの事前参加登録フォームより
問い合わせ先▶JTBビジネスサポート九州ICS営業部内 運営事務局

〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35新KBCビル6F

E-mail: 22sst_fukuoka@kys.jtb.jp

☎092-751-3244

FAX 092-751-3250

日本訪問看護財団研修 精神障がい者の在宅看護セミナー

日時▶8月26日(金)～28日(日)

※3日間・20時間以上の研修

会場▶高知県立大学(高知県高知市)

対象▶精神科訪問看護に従事する看護職員、作業療法士など

内容▶「精神保健福祉の現状と動向」「精神科訪問看護の動向と報酬・制度の活用」「精神障がい者の病態・薬物療法」「精神科訪問看護の基礎・アセスメント」「病状悪化の早期発見・危機介入」「利用者との信頼関係」「精神科訪問看護の実践」「利用者・家族を地域で支えるための多職種連携」

講師▶望月聡一郎、山崎正雄、萱間真美、田井雅子、鈴木孝典、吉野百合、白石賢吾、佐藤美穂子
※精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たすセミナー

受講料▶会員2万円、非会員4万円

申し込み・問い合わせ先▶日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5F

☎03-5778-7005(研修担当)

FAX 03-5778-7009

日本アディクション看護学会(第15回)

日時▶9月3日(土)～4日(日)

会場▶武庫川女子大学中央キャンパスマルチメディア館(兵庫県西宮市)

メインテーマ▶「依存症と感情―拒否の連鎖から支援の連鎖へ」

プログラム▶会長講演「看護における多様性と感情」實田穂／基調講演「自由であること・とらわれること」武井麻子／特別講演「発達障害とトラウマ―アディクションからコネクションへ」大久保圭策／教育講演「家族支援の見立て」倉石哲也／ランチョンセミナー「痛み

とアディクション」倉田めば／シンポジウム「アディクション問題における感情とケア―支援の連鎖をめざして」／特別企画「アディクション・ライブラリー―語る本」／一般演題／交流集会ほか

申し込み▶ホームページの事前参加申込書に必要事項を記入し、E-mailまたはFAXで

参加費▶(～7/8) 会員4000円、非会員6000円、当日会員5000円、非会員7000円、学生・当事者・家族(当日のみ)1000円

問い合わせ先▶学術集会運営事務局

FAX 0798-39-9022

E-mail: 15jssan@mukogawa-u.ac.jp

アルコール依存症看護師養成研修会

会場・日時▶①東京研修会場(港区)9月10日(土)～14日(水)／②京都研修センター(中京区)10月1日(土)～5日(水)

内容▶「アルコール依存症の概念と治療」「アルコール依存症者の心理」「アルコール依存症の看護・事例検討」「アルコール依存症と家族」「アルコールの内科学」「病棟実習」

受講料▶会員3万2400円、非会員4万8600円(税込)

対象▶精神科病院、身体科医療機関において、アルコール依存症者などに対する看護に従事する看護師および准看護師(准看護師はアルコール依存症者に対して3年間以上の看護経験を有する人)

受講定員▶50名

申し込み▶専用申込用紙に記入して郵送する

送付先・問い合わせ先▶①日本精神科看護協会品川事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7階

☎03-5796-7033

FAX 03-5796-7034

②日本精神科看護協会京都研修センター 〒604-8166 京都市中京区三条通烏丸西入御倉町85-1 KDX烏丸ビル8階

☎075-229-6770

FAX 075-229-6771

精神科認定看護師の会 九州沖縄ブロック研修会

日時▶9月3日(土)13:30～15:30

会場▶ネット九州(福岡県福岡市中央区清川)

研修会名▶精神科臨床における身体管理

講師▶有本妥美(あずま会倉敷病院 看護部長)

受講料▶無料

定員▶50名(定員になり次第締切)

締切▶8月22日(月)必着

申し込み・問い合わせ先▶九州沖縄ブロック代表(長崎県精神医療センター看護師)岸川孝

E-mail: t-kishikawa@nagasaki-hosp-agency.or.jp